

「鶴の湯温泉本陣」 国の登録有形文化財に登録

仙北市で2件目の国登録有形文化財として、入湯温泉郷鶴の湯温泉の「鶴の湯温泉本陣」がこのほど正式に登録され、門脇市長へ報告に来庁しました。

鶴の湯温泉は、乳頭温泉郷のうちの中でも最も古くからある温泉宿で、古くは1638(寛永15)年に秋田藩主二代目佐竹義隆が湯治に訪れ、本陣に藩主警護の武士が詰めたと伝えられています。鶴の湯温泉本陣の建物は、木造平屋建、寄棟造りで客室部分と休憩室、厨房の2棟より形成され、長い茅葺屋根と板張りの外壁よりなり、山間にある古い湯治場が当時の雰囲気そのまま伝えています。



～もしも・・・の時～

田沢湖総合開発センターに AEDが設置されています

田沢湖総合開発センターでは、3月24日、AED(自動体外式除細動器)を使った救命講座が開催されました。

このAEDは昨年、角館ライオンズクラブから市へ寄贈されたものを同センターに設置したものです。

受講した同センターの利用団体関係職員は、救急の場に居合わせた時の行動をシミュレーションし、救急車が到着するまでの、1次救命処置(心肺蘇生法)の流れを広域田沢湖消防分署の職員の方から学びました。受講された方々はAEDの声の誘導に従い手順が指示されるため「あわてないとできるような気がする」と話していました。

田沢湖公民館では、AEDを設置していただいたことを機会に、事業として市民のみなさんを対象にした救命講習講座を開催する予定です。



広域的な観光情報を発信

仙北市TIC(ツーリスト・インフォメーション・センター)開所



秋田県観光の玄関口である角館駅に、「仙北市ツーリスト・インフォメーション・センター(TIC)」が設置され、4月1日開所式が行われました。

これは秋田県と仙北市及び地元観光協会などが協働運営により設置するもので、仙北市観光情報センター「角館駅前蔵」に事務所が置かれ、県職員1人、市職員2人、角館町観光協会職員3人が常駐するほか、秋田内陸縦貫鉄道から1人が駐在します。

TICの主な業務は、次のとおりです。

- ①仙北市を訪れる観光客に対し、市内の観光情報のほか県南、内陸線を経由した北秋田市方面、秋田市・男鹿市方面への広域的な観光情報の提供
- ②仙北市を起点とした、広域的な旅行商品の企画、商品化の促進及び関連する情報発信

TEL(42)8377 FAX(54)4855

